

9条改憲NO！ 改憲発議に反対する全国緊急署名
各地でこんな取り組みが ③② **2021年7月22日**

9条改憲NO！全国市民アクション 連絡先 メール info@kaikenno.com ☎03-3221-4668

- ◆ **オリンピックは中止を！！ 何よりも命が大事、今からでも遅くはない！**
- ◆ **都議選で野党共闘が前進！ 6年間の積み重ねがうんだ成果 総選挙へ！**
- ◆ **草の根の大運動—学習・署名・宣伝・対話—を強め、改憲憲4項目、緊急事態条項創設議論 STOP！**

【オリンピックより命が大事、今からでも遅くはない、中止せよ！】

オリンピックより命が大事、政治が決断すればオリンピックはいつでも中止できます。今からでも遅くはありません。今必要なことはコロナ対策—ワクチンの迅速な接種と大規模な検査の実施、必要な補償、医療体制の確保など—に全力を集中することです。

都議選の結果は、オリンピック開催の「中止」「延期」「見直し」が多数でした。日本と世界の世論は不安の中、7月23日（「オリンピック開会日」）を迎えようとしています。圧倒的多数の世論は自公政権の「ちゃらんぽらん」「でまかせ」、東京都内4度目の「緊急事態宣言」などのコロナ対策とオリンピック開催強行を強く批判しています。菅内閣の支持率は30%を割る（時事7月9～12日の調査29.3%）事態に至っています。

菅自公政権は、野党が一致して要求するコロナ対策やオリンピック強行問題など山積する課題の論議のための国会開催を拒否。直ちに国会を開催せよ！

【東京都議選 野党共闘の前進 総選挙へ弾み 菅政権の終わりの始まり】

東京都議選（6月25日～7月4日）では、全42選挙区のうち21選挙区で野党間の共闘体制・候補者の一本化のもと選挙戦がたたかわれました。野党は、文京区（定数2）、渋谷区（2）、中野区（3）、豊島区（3）、北区（3）、立川市（2）、武蔵野市（1）、三鷹市（2）、小金井市（1）、小平市（2）、日野市（2）、北多摩2区（2）、北多摩4区（2）の13選挙区で勝利しました。野党は、19議席の日本共産党（改選前18議席）、15議席の立憲民主党（同8）と生活者ネット1議席、無所属1議席の合計36議席となり、自民党（33議席）、都民ファースト（31議席）、公明党（23議席）をしのぐ最大のブロックとなりました。

自民党は、今回は都民ファーストと党だった公明党とあわせて過半数（64議席）をとると豪語していましたが及ばず、都民ファーストは改選前45議席から3分の2に減りました。

全国が注目したこの選挙結果の最大の特徴は菅政権、小池都政に下された都民の厳しい審判です。

都議選では、2015年の戦争法反対運動以来の6年間の市民と野党の共同、野党の共同の積み重ねが政治に対する強い問題意識をもつ市民・有権者を育み、その力が発揮されました。総選挙に向け、試金石ともいべき野党共闘が成果をあげました。

「(自公が過半数を獲れなかったことは)コロナ感染拡大の下での五輪強行、ワクチン不足などのコロナ対策の迷走に対する都民の厳しい審判」「政治全体に不信が高まり、投票率が9ポイントも下がった」「(その中、野党が選挙協力で勝利したことは)総選挙に向けてかなり響くメッセージ」「(野党側は)自公政権に代わる『もう一つの船』—政権を任せられる船の姿を一刻も早く示す必要がある(以上、政治学者・中島岳志氏)、
「(都議選で)菅政権の終わりの始まりが見える結果となり」「(菅首相は首相就任以来)国政補選・再選挙、千葉・静岡知事選で連戦連敗、そして今回、『選挙の顔』を担いえない」「野党が(共闘の)成果を生かし、総選挙で政権批判票の受け皿になるためには政権協議、政策協議、選挙区調整を加速させるのが喫緊の課題(以上、元「朝日」政治部次長・脇正太郎氏)などの声も報道(いずれもしんぶん赤旗日曜版7月11日付から)されています。(H)

各地の取り組みから

北海道 「オリンピックは中止を」「国会開け」 深川憲法共同センター

北海道深川市の深川憲法共同センターは7月16日、市内の繁華街でリレートーク・スタンディング行動を取り組みました。「オリンピックは中止、今からでも遅くない」、「酒類提供禁止は憲法違反」、「国会を開き説明を」などのプラカードを掲げ、スピーチで訴えました。通行人から激励されました。

この行動は通算65回目、11人が参加しました。

北海道 「五輪より命を守る政治を」スタンディングアピール 江別市

江別市で活動する憲法9条を考える実行委員会は7月19日、17人が参加して、大森駅前スタンディング宣伝を行いました。

参加者は「五輪より命を守る政治を」「命と暮らしを守るためにオリ・パラの中止を」の横断幕を掲げ、実行委員のメンバーが「コロナという異常な中に置かれている中へ五輪強行。命への最大の冒とく、今こそいのちを大切に政治に転換させましょう」などとマイクで訴えました。宣伝は通りかかった学生らの注目をよびました。

青森 「オリンピック中止、今からでも遅くない」青森県九条の会

青森県九条の会は7月19日、青森市の駅前公園でスタンディング行動を取り組み、戦争法廃止を訴えました。11人が参加しました。

「アベ・スガ政治を許さない」「市民の力で戦争放棄の9条改悪をやめさせよう」などのポスターをかかげてアピール。リレートークでは、「オリンピックは国民の多くが中止・延期を求めている。今からでも中止を」「感染拡大を憲法のせいにする政治家に憲法改正を語る資格なし。総選挙で憲法を守る政権にかえよう」などの訴えが続きました。

岩手 感染抑止に全力を、オリンピック中止を 盛岡市でデモ行進

9条改憲NO!全国市民アクション岩手の会は7月19日、菅政権の改憲発議を許さない、と定例のデモ行進を盛岡市で行いました。

出発前の集会で主催者は、「コロナ対応で飲食店の酒類提供への圧力の動きは菅政権の強権、違憲の体質を示すもの。感染抑止にはワクチンの早期接種とPCR検査拡充などに全力を。緊急事態宣言下の五輪は今からでも中止すべき」などとあいさつしました。

猛暑の中、参加した90人は、「武器でコロナは防げない」「五輪中止今からでも」などと繁華街をコールしながら行進、市民に訴えました。

宮 城**100 回目の街頭宣伝 五輪は中止を！****塩釜・多賀城**

塩釜市と多賀城市で戦争法廃止の街頭宣伝が取り組まれました。7月19日の行動は通算100回目です。呼びかけは治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟塩釜支部と塩釜地方労連。

行動では、利府宮城スタジアムでのオリンピックサッカー試合が観客を入れて行なわれようとしています。こうした政府や県知事には県民の命と健康を守る姿勢がないこと、オリンピック中止は今からでも遅くないなどと訴えました。

山 形**バッハ会長の広島訪問、オスプレイに抗議****山形市**

9条改憲NO！やまがた県民の会は7月19日、山形市内で街頭宣伝行動を展開しました。

船山整山形県平和センター議長が、コロナ感染拡大と医療のひっばくの中での東京オリンピック強行、「平和の祭典」と逆行するオリンピック開催の一方でおこなったバッハIOC会長の広島訪問は、被爆者への冒とく、と批判しました。佐藤完治山形県労連事務局長がオスプレイの山形空港への緊急着陸は憲法じゅうりん、先の国会での国民投票法改定との関係で、今大事なことは憲法改定ではなくコロナ対策に全力を尽くすことと指摘しました。

茨 城**2区で市民連合結成集会****鹿嶋市**

茨城2区市民連合が鹿嶋市で結成されました。

7月18日の結成集会では鹿行市民連合の松澤博代表委員、大内くみ子日本共産党衆院北関東比例予定候補、藤田幸久立憲民主党前参院議員・衆院茨城2区予定候補らが参加し訴えました。

松澤氏は、「総選挙は政治を変える重要な転換点、憲法と立憲主義を守るために野党で衆院選を勝ち抜こう」と訴えました。大内氏は、「野党が協力・共同すれば自公の強権政治を終わらせることができる。選挙で一人ひとりが尊重される政治を実現しよう」と呼びかけました。藤田氏は、「自公政権のもとで集団的自衛権行使容認や医療に冷酷な悪政の下、暮らしに困る人がさらに困るような格差の拡大。総選挙で政治を変えよう」と述べました。

埼 玉**シール投票 「五輪中止」が9割 戦争させない！埼玉の会**

戦争させない！埼玉の会は7月16日、JR浦和駅東口で、「東京オリンピック、あなたはどうか考える？」のシール投票を行いました。投票には35人が参加、「中止」とした人は31人、「延期」が1人、「開催」が3人でした。「中止」とした人たちは「なぜ開催にこだわるのかわからない」、「安全にやれるとは思えない」、「選手のみなさんには気の毒だが…」などといいながらシール投票しました。

定例の金曜駅頭宣伝行動のこの日の行動には11人が参加、リレートークの間に、ギターや二胡の演奏、うたごえも加わりました。

東 京**オリンピック開催は即時中止！****国会前、新宿、有楽町で**

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会と9条改憲NO！全国市民アクションは7月19日、衆議院第二議員会館前を中心とした国会前で68回目の19日国会行動を開催しました。この日の行動には市民ら450人が参加し、「オリンピック開催は即時中止！」「オリンピックよりのちが大事」と国会に向け訴えました。

政党から小西洋之参院議員（立憲民主党）、田村智子参院議員（日本共産党）、福島瑞穂参院議員（社会民主党）が参加しスピーチしました。また、都議選で野党の共同候補として小金井市選挙区（定数1）で勝利した漢人（かんど）明子都議（無所属）ら市民3人が発言しました。

戦争法6年目となる9月の19日行動は14時から国会正門前を会場に行われます。

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会と9条改憲NO！全国市民アクションは7月15日、新宿駅西口で菅政権がねらう改憲発議に反対する署名・宣伝行動に取り組みました。行動には42人が参加し、寄せられた改憲発議反対署名は28人分。署名しながら対話の輪がいくつも広がり、オリンピック開催強行が無謀だとする声、今からでも中止できないかの声などが寄せられました。8月の行動は18日(水)18時から新宿駅西口で行われます。

7月7日、有楽町駅前で、**戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会**は**ウイメンズアクション**で、宣伝・署名の行動を展開しました。平和を願う短冊を付けた七夕飾りも登場した宣伝行動には30人が参加し、寄せられた改憲発議反対署名は7人分でした。次のウイメンズアクションは8月4日(水)18時から有楽町で行われます。

山 梨 市民と野党の共闘強め菅政権を倒そう 甲府駅前集会

戦争させない・9条壊すな！山梨行動実行委員会は7月19日、甲府市のJR甲府駅南口で「戦争法廃止19日集会」を開催しました。集会には市民や政党代表ら約50人参加しました。市民と野党代表はリレートークで、「オリンピックは中止を」「市民と野党の共闘で菅政権を打倒しよう」などと訴えました。

立憲民主党の宮沢由佳参院議員は、合理的、科学的根拠なしにオリンピック開催強行する自公政権を批判、命と平和を守り、安保法制を廃止するため総選挙で審判をくだそうと呼びかけました。日本共産党の花田仁山梨県委員長は、都議選でオリンピックはやめよとの民意が示されたこと、野党共闘が成果をあげたことを強調、総選挙で政権交代・野党連合政権をつくるために全力をあげると決意を述べました。社会民主党、新社会党、みどり・山梨の県代表もスピーチしました。

医療現場・病棟看護師が、「コロナで医療が切迫している。五輪を強行する政府には怒りしかわかない。今行うべきは必要な人が十分な医療を受けられる政治と社会にすること、力を合わせて国民の命と医療を大切に政治を変えたい」と発言しました。

長 野 戦争法廃止求める19日行動 長野市内地域九条の会

長野市の**若槻・吉田地区憲法9条の会**は7月19日、戦争法廃止を求め19日行動を取り組みました。戦争法が強行された6年前から毎月行動しているものです。

この日は7人が参加、「野党連合政権で憲法9条を守ろう」「NO！戦争法」などの横断幕やプラカードをかかげ、リレートークでアピールしました。

石 川 五輪は中止、菅政権は退陣！と「怒りの昼デモ」 金沢市

金沢市で菅政権の退陣を求める「怒りの昼デモ」が取り組まれました。呼びかけは、**石川憲法会議と戦争する国づくりストップ！石川県共同センター**。

約30人が参加し、市内をデモ行進し、「平和憲法9条を守ろう！」の横断幕を先頭に、「命を守れ！オリンピックは中止を！」「東京五輪は中止し、コロナ対策に全力を！」「総選挙で菅政権にノーの審判を下そう」などのコールに、沿道から大きく手を振る声援も寄せられました。

富 山 オリンピックよりコロナ対策 富山駅前でスタンディング

富山県の**「戦争する国」づくり反対共同行動実行委員会**は7月19日、富山駅前広場でスタンディングを行い、「オリンピックよりコロナ対策を」とアピールしました。

行動には35人が参加、「スガ内閣は退陣せよ、市民と野党の共同で政権交代を」などの横断幕やプラカードを掲げ、商工業者や平和運動センター、政党の代表らリレートークで訴えました。

静 岡 戦争法廃止、軍事費をコロナや災害対策へ！ 浜松総がかり

浜松市の**戦争させない・9条壊すな！浜松総がかり行動**は7月19日、JR浜松駅前

戦争法廃止、9条改憲反対の宣伝行動を取り組みました。10人が参加しました。

参加者は、「戦争させない」「五輪より命が大事」などのプラカードを掲げ、五輪の中止、戦争法の廃止、軍事費を削減しコロナや災害対策に予算を、などと訴えました。ギターでの弾き語りのアピールもありました。

通りがかった高校生からの声援もあり、海外出身の女性がスマホで撮りながら「人の命がいちばん大事、オリンピックなんてやってはならない」と、インスタグラムで拡散すると話す姿もありました。

愛知 60回目の安保法制反対集会 **東郷町**

安保法制に反対するあいち中部ネットワークは7月18日、愛知県東郷町で30人が参加して60回目となる集会を開きました。コロナや悪天候で3か月ぶりの開催。

市民とともに、かどはら武志東郷町議（日本共産党）、ごとうみき、坂林たくみ両日進市議（同）、舟橋よしえ日進市議（無所属）、島村きよみ元日進市議（同）らも参加し、スピーチしました。

岐阜 「選挙に行こう」「一票一揆で政治を変えよう」 **岐阜総がかり**

7月17日、岐阜市のJR岐阜駅南の公園で、岐阜総がかり行動が取り組みました。20回目の行動となる今回、県内の市民と野党代表ら約130人が参加し、手に手に「市民と野党が力合わせ政治を変えよう」「命と暮らしを大切に」などのボードも掲げ、アピールしました。

政党からは立憲民主党の阪口直人氏、日本共産党の山越徹氏、社会民主党の市川美彦氏が訴え、国民民主党からはメッセージが寄せられました。

岐阜総がかり行動の河合良房代表は「今度の選挙は一票一揆。いのちと暮らしを大事にする政治に転換しよう」と呼びかけました。

参加者は集会後、市内をデモ行進、「オリンピック・パラリンピックを中止して、いのちと暮らしを守れ」「選挙に行って政治を変えよう」などとコールしました。

滋賀 五輪も改憲もNO！ 発議反対署名に取り組み **守山市**

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民の会しが・3区の会（略称=3区市民の会）は7月19日、守山市のJR守山駅前、「市民と野党の共闘で、秋の総選挙で自公政権を倒し、政治を変えよう」と宣伝、改憲発議に反対する署名を呼びかけました。

「オリンピックも改憲もやめてコロナ対策を」と呼びかけるチラシを配布しました。

宣伝行動では、市民による若者への訴えのほか、参加した国枝敏孝守山市議（立憲民主党）、小牧一美守山市議（日本共産党）らのリレートークも行われました。

京都 ウソつき内閣打倒の総選挙、市民が動くときがきた **集会・デモ**

戦争をさせない1000人委員会京都連絡会、京都憲法共同センター、市民アクション@きょうとによる毎月の19日集会・デモが7月19日行われました。戦争法廃止、9条改憲阻止、菅義偉政権打倒をかね、京都市役所前の集会の後、四条河原町まで行進しました。

集会では、全国で活動する「市民連合」に連携する「ユナイトきょうと」の駒込武京都大学教授が「現政権のやり方はいずれも、脅す、黙らせる、干すという反社会的勢力と同じ手法」と批判、「選挙で責任を取らせるしかない、野党が統一候補を立て勝とう。私たち市民が動くべきときがきた。ウソをつき約束を守らない人を政権から追い出すのが今度の総選挙」と訴えました。

デモでは、「五輪じゃなく命を守れ」「野党は共闘」などとコールし、市民に訴えました。

大阪 戦前と重なるオリンピック開催強行に抗議 **西淀川区**

戦争あかん！西淀川サイレントデモが7月19日、大阪市西淀川区で取り組みました。51人が参加し、千舟公園での集会に続き、区内を行進しアピールしました。

同デモ実行委員会の門谷充男実行委員長は、「コロナのなかでオリンピックに突き進む菅政権は、科学無視。国民の命を犠牲にして戦争に進んだ戦前と重なる」と指摘し、抗議しました。

宮本たけし日本共産党前衆議院議員、沓澤和夫立憲民主党大阪5区支部幹事長らが発言しました。

広島 総選挙へ「1区市民連合」結成 **衆院広島1区**

7月17日、「**変わろう！HIROSHIMA・1区市民アクション（広島1区市民アクション）**」が結成されました。市民と野党の共闘で政治を変え、核兵器禁止条約に署名・批准を掲げる国会議員を送り出そうというものです。

広島市中区で開かれた結成集会には75人が参加。保守の「牙城」から脱するためには本気の市民と野党の共同・共闘の運動を草の根から広げることが必要として、会則や要求政策なども確認されました。田村和之広島大学名誉教授が記念講演しました。

集会では、大西オサム1区予定候補（日本共産党）、有田優子1区予定候補（社会民主党）が連帯を表明し、佐藤公治立憲民主党県連代表、三木郁子新社会党県本部委員長からメッセージが寄せられました。また、2区、3区、5区の市民連合の代表から、1区市民連合結成歓迎、連帯のエールが送られました。

島根 松宮立命館大教授がオンライン講演 憲法会議が総会 **松江市**

島根県憲法会議は7月10日、松江市内で第20回総会を開きました。

総会では菅首相によって学術会議会員の任命を拒否された6人のうちの1人、松宮孝明立命館大学大学院教授が、「当事者は語る」と題してオンライン講演を行いました。

総会では、菅政権による9条改憲を阻止するために「改憲発議に反対する全国緊急署名」を取り組み、地域組織づくりをひろげようなどの方針を確認しました。

愛媛 オリンピック中止・延期で命と健康を守ろう **新居浜市**

憲法9条をまもり安保法制をなくす新居浜の会は7月19日朝、新居浜市内で16人が参加して定例の街頭宣伝を行いました。

行動には、佐々木龍元新居浜市長、石川稔社民党県議・同党県連代表、井谷幸恵日本共産党新居浜市議が参加し、市民とともにリレートークで訴えました。佐々木氏は、商業主義、政治利用の五輪開催強行を批判、「野党と市民の力で候補者を押し出し、政権交代を」と呼びかけました。石川氏は、「パンデミックの中での五輪開催などナンセンス。中止・延期で国民の命と健康を守ろう」と述べました。井谷氏は、「五輪よりコロナ対策を」と東京都議選や都内での中止要求のデモなどを紹介して訴えました。

福岡 野党共闘で菅政権打倒、改憲阻止 **北九州市で共同の宣伝**

平和をあきらめない北九州ネットは7月19日、北九州市のJR小倉駅前と黒崎駅前
で総選挙に向けて野党統一候補の擁立と菅自公政権打倒実現めざし、集会を行いました。全国の市民連合が昨年発表した「要望書」にもとづき野党各党に呼びかけたもの。

参加者は、「野党政権実現」などのプラスターを掲げ、リレートークで訴えました。池上遊北九州ネット事務局長が、「自公政権打倒と戦争法の廃止、9条改憲阻止を掲げたたかかっていく」と呼びかけました。

小倉駅前では、田村貴昭衆院議員（日本共産党）、森本由美北九州市議（立憲民主党・城井崇衆院議員代理）が、黒崎駅前では、まじま省三衆院比例予定候補（日本共産党）、緒方林太郎前衆院議員（無所属）が訴えました。